

これであなたも芸術家!

日時:2019年9月1日(日)9時~

場所:宮前区役所 4階大会議室

今年も絵画教室の季節がやってきました。しかし夏休み最終日となった為か参加人数は55名と少なめとなりました。

宮崎台小学校から大島晶子先生 藤井和也先生 美大生OB 吉崎徳望さんのアドバイスを受けながら、



それぞれ真剣に作品と向き合う姿は毎年変わらないものでした。

まっしろな画用紙を前に自分が描きたいものを思い描く眼差しの鋭

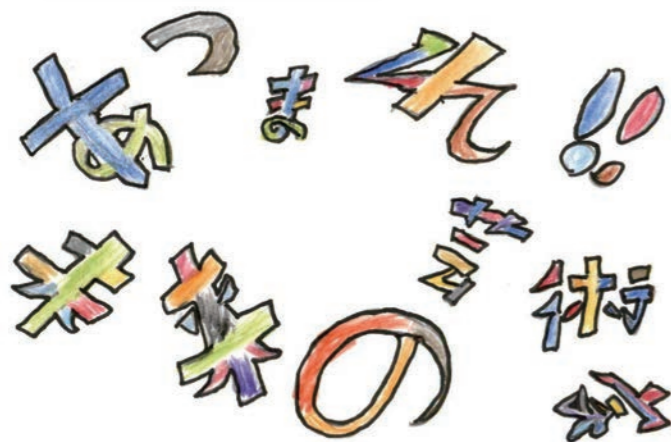
さは、一流の画家と変わらなく感じました。

今年度作品展のサブタイトル、マスコットの受賞者が決定いたしました。

サブタイトルデザイン賞 山本庸治さん(小6)
マスコットデザイン賞 澤木心愛さん(小6)です。

大変おめでとうございます。

作品展当日は皆さんお誘い合わせの上、沢山のご来場をお待ちしております。



「第34回 宮前地区青少年作品展」

作品募集・開催のお知らせ

展示日:2019年11月23日(土)・24日(日)

【サブタイトルデザイン賞】
山本庸治さん(小学6年生)

【キャラクターデザイン賞】
澤木心愛さん(小学6年生)



えのぐん

- 会場:宮前区役所4F大会議室
- 応募資格:宮前地区内在住または在学の小学生及び中学生
- 応募方法:11月21日(木)18:00~20:00
(予備日 22日(金)18:00~19:00)
宮前区役所4階第2会議室に応募作品を持参・提出すること
- 作品返却:11月24日(日)18:30~19:00 大会議室にて返却する
- 応募作品:

【絵画部門】

	対象	課題
絵画の部	小学1年以上	自由
ちぎり絵の部	小学1年以上	自由
イラスト・デザインの部	小学1年以上	自由

※応募規格:44cm×31cmの画用紙
規格の画用紙が手に入らない場合、事務局(宮前区役所地域振興課)までお問い合わせください。

【書道部門】

	対象	課題
対象	小学1年~小学2年	たいそう
	小学3年~小学4年	青空高く
	小学5年~小学6年	平和の祭典
	中学生	我らの挑戦

※応募規格:書き初め用紙(134cm×34.8cm)または書道半紙(市販のもの)

- 問合せ先:宮前地区青少年指導員会事務局(宮前区役所地域振興課) 電話:044-856-3135

編集後記

『あすか』29号発行に向けご協力ありがとうございました。令和になって初めての夏も過ぎましたが、今年は巡回映画会も全会場で無事開催できました。地元地域や町会、自治会、子ども会のお力添えに感謝するとともに次号発行に向け編集委員一同、異体同心の団結で取り組んで参ります。

編集委員:山本友彦、子安栄美子、本田弦、佐々木久雄、村上 日出国、蕪木英明、相澤裕明(順不同)



No.29

川崎市宮前区 青少年指導員会 宮前地区広報誌

2019年9月30日発行 第29号
発行者:宮前地区青少年指導員会
会長 岸 真介
事務局:宮前区役所地域振興課内
TEL.044-856-3135



笑顔あふれる子どもたちの成長を願って 宮前区長 高橋 哲也

子どものころから身体を動かすことが大好きで、現在も休日にはテニスを楽しんでいます。子どもは息子と娘で、小さいころは家族4人で白馬ヘスキーを楽しみにしていました。市役所では、スキー部に所属し、指導員の資格も取り、合宿では十数名の子どもたちを受け持って、林間コースなどを楽しみました。

集団になると子どもたちにルールが生まれ、お互いを尊重しあいながら協調性を持つて行動するようになります。競争も生まれ、子どもたちがすごいスピードで成長するの

に驚きました。子どもたちは団体行動の中で、いろいろなことに気づき、成長するのだと思います。

宮前地区青少年指導員会の皆様は、長年にわたり子どもたちの様々な活動を支えていただいております。子どもたちの健全育成のためのご尽力に心より感謝申し上げます。各種事業にも取り組まれ、「ディスカバーウォークみやまえ」では、大人と子どもが一緒になって楽しみながら、宮前区への愛着の心も育まれているものと思います。「青少年作品展」にもたくさんの子どもの応募と、多くの方に来場していただきました。子どもたちの成長には、表現することや芸術に親しむことが大切なことと思います。また「子どもたちの笑顔を守るため」地域巡回パトロール活動も行っています。

このように、宮前地区青少年指導員会の皆様が各種事業を開催していただくことで、地域の中で、子どもたちの健全な心が育まれていることに、改めて心より敬意を表するとともに感謝申し上げます。「笑顔あふれる子どもたちの成長」を願って、宮前地区青少年指導員会の皆様に引き続きのご協力をお願いするとともに、益々のご活躍、ご発展を祈念いたします。

Interview 平成30年度神奈川県青少年育成功労者表彰を授与された平井賞子さんにインタビュー致しました。

Q.青少年指導員としてボランティア活動を始めたきっかけは何だったのでしょうか?
A.子ども会の役員として、町内会にも関わり、青少年指導員の活動も少し知ることができました。子どもと関わるのが好きな私は、町内会長や前任者のすすめもあり始めました。

Q.長年、青少年指導員として活動を続けるにあたり、「志」もしくは「信念」みたいなものがありましたらお聞かせください
A.自分のできる範囲で、自分のできることを心をこめてやる。自由にいろいろな意見を出し合いながら、みんなで作り上げていく楽しさを大事にする。常に新しい工夫にトライ!
「楽しくやること! どんなことも楽しんでやること!」



平井 賞子さん

Q.これから青少年指導員として活動したいと思っている後輩に一言お願いいたします。
A.アイデアを出し合い、子どもたちが楽しめる様に仲間と一緒に取り組み、参加し、青少年指導員の活動を楽しんでください。

青少年指導員合同研修会

日時:2019年6月16日(日) 10時～ 内容:「みんなのポッチャ」
 場所:区役所 4階 大会議室 講師:れいんぼう川崎在宅支援室

誰でも楽しめるユニバーサルスポーツであるポッチャについて研修会を行いました。

ポッチャとはなに?

競技名「ポッチャ」は、元イタリア語で「ボール」を意味する単語からきているそうです。赤、または青の皮製ボールを投げ、白的球(まどたま→ジャックボール(目標球)にどれだけ近づけられたかを競う競技です。パラリンピックの公式種目となっており、全世界で40カ国以上に普及しています。

競技は個人、ペアないしは3人1組のチームで行い、男女の区別はありません。パラリンピックなどの国際大会ではクラスに別れて行われています。

ポッチャについては、そのルールが氷上で行われるカーリングと似ているところから、「地上のカーリング」、「床の上のカーリング」とも呼ばれています。

ウィキペディアより

『人生をかけてポッチャに打ち込み、真剣勝負を重ねるトップアスリートとは違う、もう少し気軽に楽しめるポッチャのかたちはないのでしょうか。車いすの人、杖をついた人、小さな子どもさん、おじさん、おばさん、高齢の方、だれでも一緒に楽しめるポッチャの魅力を広めるために、正式ルールにとらわれない、より自由なポッチャを提案したい。これは私たちの街、川崎から始まる、ごくごくローカルな取り組みではありますが、「みんなのポッチャ」はそんな新しいポッチャの形を提案します。』との講演を伺い、当日参加した青少年指導員全員が実際に体験学習をしました。やってみると皆さんとても熱くなり真剣に楽しみ、盛り上がっている姿が印象的でした。

是非、青少年指導員のイベントにおいても取り入れてみてはとの声も多く聞かれました。来年は、日本でオリンピック、パラリンピックが開催されますので注目を集める競技になるかもしれません。皆さんも「ポッチャ」を知って頂けたら幸いです。



宮前地区巡回映画会 2019年7月～8月



◆防犯講話

今年の巡回映画会は4地区11会場で実施され、「じしんがきたらどうする? むしむし村の防災訓練」や「ミッキーの消防隊」などを上映いたしました。

暑い中にもかかわらず、総勢2,333名の方々にお越しいただき、大変な賑わいを見せました。

また、7月19日(金)有馬・野川生涯学習施設アリーナで実施された防犯講話には、約100名が訪れました。宮前防犯連絡協議会・谷正光会長と宮前警察署生活安全課・安藤英輝巡査部長からお話を伺って、夏休みに向け子どもたちも交通安全と防犯に対する意識が高まったと感じております。



みやまえ太鼓ミーティング

8月24日(土)に宮前市民館で開催され、23名の青少年指導員が運営に協力しました。

